

教材使用報告書③

1	機関名：サンクトペテルブルク国立大学												
2	報告者名：宇賀持 綾子												
3	使用教材名：「まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 活動」												
4	<p>使用クラス概要：</p> <table> <tr> <td>学年</td> <td>文学部 理論言語学科</td> </tr> <tr> <td>クラス名</td> <td>世界の言語（言語は数十ある言語から学生が選択）</td> </tr> <tr> <td>1週間の日本語授業時間</td> <td>1コマ（90分）</td> </tr> <tr> <td>学習者レベル</td> <td>0 初級</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>使用した期間・頻度</td> <td>3ヶ月間、週に一回</td> </tr> </table>	学年	文学部 理論言語学科	クラス名	世界の言語（言語は数十ある言語から学生が選択）	1週間の日本語授業時間	1コマ（90分）	学習者レベル	0 初級	人数	3	使用した期間・頻度	3ヶ月間、週に一回
学年	文学部 理論言語学科												
クラス名	世界の言語（言語は数十ある言語から学生が選択）												
1週間の日本語授業時間	1コマ（90分）												
学習者レベル	0 初級												
人数	3												
使用した期間・頻度	3ヶ月間、週に一回												
5	<p>そのクラスで新しい教材を使用した目的：</p> <p>週に一回の授業で、10月～12月、2月～4月の半年間でA1レベルを目標にしたため。</p>												
6	<p>教材使用例：</p> <table> <tr> <td>メインテキスト or 副教材</td> <td>メインテキスト</td> </tr> <tr> <td>具体的な授業例</td> <td>添付資料①（教案）を参照。</td> </tr> <tr> <td>授業のために作った配布物</td> <td>添付資料②（宿題）、添付資料③（テスト）を参照。</td> </tr> <tr> <td>使用スケジュールなど</td> <td>添付資料④（シラバス）、添付資料⑤（スケジュール）を参照。</td> </tr> </table>	メインテキスト or 副教材	メインテキスト	具体的な授業例	添付資料①（教案）を参照。	授業のために作った配布物	添付資料②（宿題）、添付資料③（テスト）を参照。	使用スケジュールなど	添付資料④（シラバス）、添付資料⑤（スケジュール）を参照。				
メインテキスト or 副教材	メインテキスト												
具体的な授業例	添付資料①（教案）を参照。												
授業のために作った配布物	添付資料②（宿題）、添付資料③（テスト）を参照。												
使用スケジュールなど	添付資料④（シラバス）、添付資料⑤（スケジュール）を参照。												
7	<p>教材を使用した成果、効果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話や聴解など、口語表現に力を入れている教科書ということがよくわかった。それによって、口語能力向上に一定の成果を見ることができた。 ・ 教科書がすでに十分に工夫されているので、日本語教育のトレーニングをうけたことがない教師やボランティアの教師が使用するのには便利だと思う。独学にも使うことができると思う。 ・ 写真や絵が多く盛り込まれているので、教師側で絵カードなどの副教材を準備する必要があまりない。 												
8	<p>教材について、使用しにくかったところや、今後の課題など：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常にローマ字で読み方が書いてあるので、学生がいつまでたっても文字を読んだり書いたりすることができない。独学などなら便利かもしれないが、クラスで使用するには不便だと感じた。それにより、教師側が板書しても、学生が文字を読めず、説明の意味が理解できないということが数多くあった。さらに、ローマ字のふりがなは、日本語特有の発音（ラ行、ガ行の鼻音、無声母音、上下アクセントなど）を習得させることを難しくさせているように思う。ローマ字なし、英語なしの教科書を作成してもいいのではないか。 ・ 写真や絵が多くあるのは利点でもあるのだが、情報量がすくないのに枚数が多く、多少不便に感じた。大人向けの教科書なので、もう少し写真や絵や文字を小さくして、ページ数を減らしてもいいのではないか。 												